

PressRelease

報道関係者各位

2011年3月1日



合同会社シーブジェイピー



共同購入クーポンサイト市場動向 (2011年2月)

【ゆるやかな回復傾向】

共同購入クーポンの検索サービス「クーポンジェイピー (COUPON-JP)」(<http://coupon-jp.com/>)が、共同購入クーポンサイト 155 サイトの情報を独自に収集・集計したデータによると、2011年2月のクーポン販売総額は、19億4,841万円となり、前月比104%と、緩やかながら販売金額は回復した。

上位20位までの販売実績と順位は以下の通り。

<表1> 共同購入クーポンサイト 2011年2月販売実績

2月順位	1月順位	クーポンサイト	2月販売総額	前月比	1月販売総額
1位 —	1位	GROUPON	882,024,386	90%	983,853,660
2位 —	2位	ポンパレ	621,536,244	130%	476,641,580
3位 ↑	4位	トクー！ポン	69,432,942	128%	54,405,210
4位 ↑	5位	シェアリー	62,596,928	126%	49,550,198
5位 ↑	7位	piku	49,426,670	188%	26,307,735
6位 ↓	3位	一休マーケット	34,472,380	50%	68,955,150
7位 ↓	6位	TOKUPO	29,098,501	88%	33,024,100
8位 ↑	9位	KAUPON	20,319,139	99%	20,439,361
9位 ↓	8位	pita TICKET	17,334,615	83%	20,889,079
10位 ↑	16位	ベネIPON	14,578,262	217%	6,718,450
11位 ↑	—	くまポン	14,396,135	417%	3,450,889
12位 —	12位	LUXA	11,883,925	95%	12,487,665
13位 ↓	11位	品品プレミアムモール	11,790,850	72%	16,349,605
14位 ↑	15位	Do★Pon!	11,458,320	149%	7,711,620
15位 ↓	10位	PREPON	10,259,260	61%	16,875,120
16位 ↑	17位	PONiTS	9,441,420	160%	5,911,595
17位 ↓	13位	GOTI	8,043,345	94%	8,561,690
18位 —	18位	QPON	7,085,185	128%	5,548,580
19位 ↓	14位	CooPa	6,852,029	87%	7,871,473
20位 ↑	—	王子の食卓	4,750,400	305%	1,557,060
全 155 サイト販売総額			1,948,415,904	104%	1,876,881,364

※集計データについての注意事項

本プレスリリース掲載のデータは、クーポンジェイピーが各クーポンサイトに掲載された情報を独自に収集し、集計を行った推定実績です。対象期間中に共同購入が成立し、かつ販売終了時刻を迎えたものを集計しています。各クーポンサイトの公式発表データではありませんのでご注意ください。

なお、データの不備・指摘については、本プレスリリースの最後に掲載している問い合わせ先にご連絡ください。

※前回公表したプレスリリースにおいて、GOTiの1月販売実績再集計を行った結果、GOTiが13位となり、以降の順位変更がありました。関係者の皆様に心よりお詫び致します。
 ※ぐるなび×pikuについて、販売実績はpikuに内包されるものと判断し、今回以降、ランキングから除外します。
 ※本プレスリリースに訂正がある場合、クーポンジェイピーの以下のURLにて随時公表致します。
 クーポン共同購入サイト 月間実績集計（統計報告） http://coupon-jp.com/monthly_report.html

【我慢のGROUPON、追撃するポンパレ】

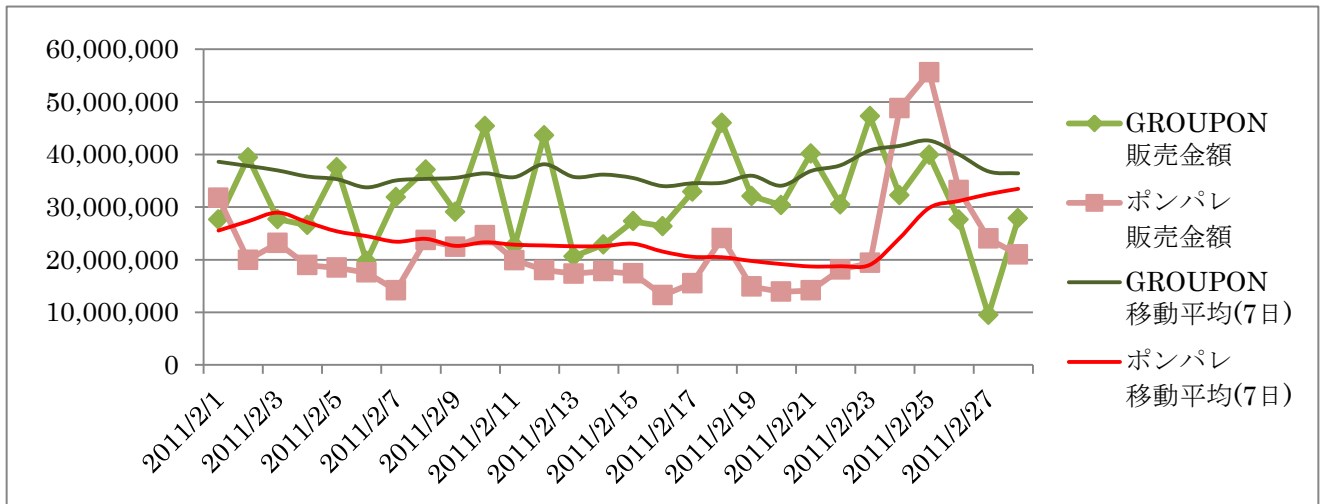
販売実績順位で見ると、1位GROUPON、2位ポンパレの二強体勢は続いている。

1月に売上を落としたGROUPONは、2月も前月比90%の結果となったが、日単位で見ると横這い傾向が見える。通販系クーポンの掲載を極端に押さえ、目立ったキャンペーンも行わないなど、やや守りに入った慎重な体勢が窺える。

一方、ポンパレは前月比130%となり、過去最高だった2010年12月の販売金額(5億8,410万円)をも上回った。

クーポン掲載数の大幅強化(1月後半～)、クーポン購入に使える1,000円ギフト券の配布キャンペーン(2/23～24にかけて)、新規会員登録キャンペーンなどで攻勢を強めた結果、二強と呼ぶにふさわしい位置に到達した。

<表2> GROUPON、ポンパレ販売推移グラフ (2011年2月)



おせち騒動を経た後、クーポンサイト全体での販売金額は復調傾向を見せており、共同購入クーポンという販売手法は一定の定着を見たと考えられる。今後もGROUPON、ポンパレが中心となって業界を牽引していくことと思われる。

【中堅サイトの明暗】

中堅サイトの順位変動も激しく、熾烈な競争が繰り広げられている。

pikuは、1月には前月比販売実績が半減したが、2月はほぼ復調した。(4→7→5位) ぐるなび×pikuと連携した、多店舗で使用できる使い勝手の良いグルメ系クーポンのヒットが要因の一つとして挙げられる。

くまポンは、ポイント付与キャンペーンやクーポン掲載数の大幅増加により、一気に11位にランクインしてきた。(1月は20位圏外)

前月躍進したトクー!ポン、シェアリーも引き続き好調で、対象エリアの拡大に力を入れている。

この他、購買力が旺盛な東京圏よりも、エリアに特化したいわゆる地域型クーポンサイトの方が堅実に販売金額を伸ばしているケースも見受けられる。

【地域型クーポンサイトの参入】

2010年11～12月頃の新規参入をピークに、2011年1月が13サイト、2月は8サイトと全体的に新規参入数が減少する中、相対的に地域に特化したクーポンサイトの参入が目立ってきた。

販売実績で見ると、北海道を地盤とした Do★Pon!(ドゥーポン、2010年10月1日開始)、都心で東急沿線を地盤とした PONiTS(ポニッツ、2010年12月1日開始)が、地域型クーポンサイトの先鋒と言えるだろう。

Do★Pon!は、TVや地元系新聞を足がかりにスタート、公開当初から完売までのスピードの速さで話題を集め、現在も北海道エリアでの存在感が強い。また、PONiTSは、自社のCATV番組を主な広報媒体として、東急沿線にターゲットしたクーポンを展開し、完売も多く人気を集めている。

クーポンサイト専業での新規参入は今後も厳しい戦いを強いられると思われるが、地元TV、CATV、新聞、フリーペーパーなどの媒体を持つ企業、あるいは既に会員を擁するサービスの運営母体が、自社媒体のサービス向上を目的に、また集客販促の一環としてクーポンサイトを運営していくモデルは、今後も一定の可能性を秘めていると考えられる。

【COUPON-JP(クーポンジェイピー)について】

クーポンジェイピー (<http://coupon-jp.com/>) は、クーポン共同購入サイト155サイトのクーポンを横断検索できるサービスです。エリア、カテゴリなどの条件指定で多様な検索が可能で、マップ検索や過去クーポン検索、食ベログ評価やバズ機能といった口コミ評価を重視した作りになっています。また、Twitterとも連動し、人気を殺到し即完売するような最新のクーポン情報もいち早く入手できる、速報性の高いクーポン情報サイトです。

【クーポンフォーユーについて】

クーポンフォーユー (<http://cp4u.jp/>) は、COUPON-JPで定評のあるクーポンデータベースをもとに、簡単な条件設定を登録するだけで、好みにあったクーポンをおすすめしてくれるクーポンのコンシェルジュサービスです。毎日最新のクーポン情報をメールで受け取ることができ、忙しい方や簡単にクーポン情報を得たい方向けのクーポン情報サイトです。

この他、共同購入クーポンデータベースAPIの提供や、クチコミサイトCOUPONBUZZ(クーポンバズ)など、共同購入クーポン業界の活性化につながる様々な取り組みを行っています。

【合同会社シーブジェイピー会社概要】

会社名 : 合同会社シーブジェイピー (<http://sheep.co.jp/>)

代表者 : 代表社員 渡辺 真生子

所在地 : 〒324-0004 栃木県大田原市富池 299-22

事業内容 : 「クーポンジェイピー」「クーポンフォーユー」の運営、Webシステム受託開発

【本プレスリリースについて】

メディア・報道関係者の方で、データ素材(Excel形式)をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

また、本プレスリリースの転載、引用は自由に行っていただけます。その際に、クレジット表記として「クーポンジェイピー」または「合同会社シーブジェイピー」、及びURLリンクを明記して頂けますようお願いいたします。

<本件のお問い合わせ先>

合同会社シーブジェイピー 担当: 渡辺 正樹

TEL: 0287-22-3070 E-mail: info@sheep.jp